

太宰府市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和5年度(2023)~令和14年度(2032)

太宰府市は、九州全体を治め「遠の朝廷」と呼ばれた大宰府が置かれて以来、今日に至るまで1350年もの悠久の歴史を刻んできた。本市には、その歴史を偲ばせる大宰府跡、水城跡、大野城跡などの遺跡群や観世音寺や太宰府天満宮をはじめ由緒ある社寺に数多く恵まれている。その中では、歴史と伝統を反映した人々の暮らしや風習、祭事などの伝統行事が営まれている。これらが一体となって太宰府らしい風情がたちあられ、本市の歴史的風致を形成している。

1. 太宰府天満宮神幸式における歴史的風致

太宰府天満宮の年中行事として最も重要な神事のひとつである神幸式は、菅原道真の神霊を慰めると共に五穀豊穡を感謝するもので、太宰府の人々にとっても密接な祭りである。



神幸式

2. さいふまいりと門前の生活にみる歴史的風致

太宰府天満宮参詣に訪れる人々が市内の名所を巡る「さいふまいり」。そして、参詣者とその周囲の人々との交流が中心に今も続く。



太宰府天満宮参拝風景

3. 太宰府天満宮門前の伝統行事における歴史的風致

門前には正月の鬼すべや恵比寿祭など、太宰府天満宮門前の長い歴史の中で培われた伝統行事がある。祭事以外の時でも街角にある恵比寿様にその思いを知ることができる。



恵比寿祭

4. 梅に関する歴史的風致

春には太宰府天満宮をはじめ市内各所に梅が咲き、太宰府の梅が福岡の春の訪れを象徴するものとなっている。人々は観梅とともに梅上げや梅ちぎりなど梅にまつわる行事を通して季節を感じることができる。



梅上げ行事

5. 観世音寺の「除夜の鐘」にみる歴史的風致

観世音寺はかつて西国最大規模を誇った大寺であったが、現在は静かな古寺となっている。その境内片隅の鐘楼にかかる梵鐘の音は、長年太宰府の地に響き渡っており、音で感じることができる歴史的風致である。



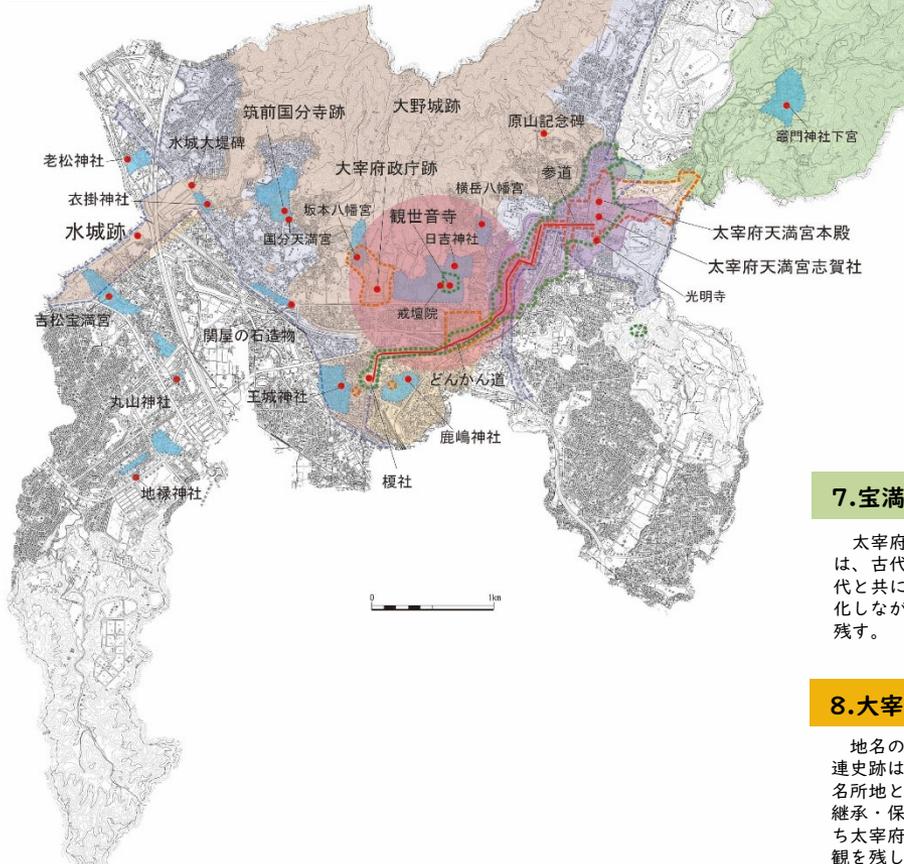
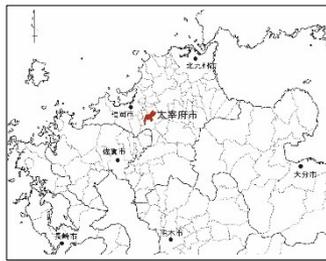
除夜の鐘

6. 農耕に関わる祭事にみる歴史的風致

神社を中心に形成された集落は、天満宮門前町以外は農村集落で、宮座を中心とした農耕祭事が残り、田畑が少なくなった現在でもその面影を見ることができる。



吉松宝満宮の宮座



◆歴史的風致とは

歴史的風致とは、地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境のことである。

◆歴史的風致維持向上計画とは

歴史的風致維持向上計画は、平成20年5月に制定された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(通称「歴史まちづくり法」)に基づき、歴史的風致を維持向上するため、社会資本の整備や市民活動の支援を行う事業計画である。

凡例

- 太宰府天満宮神幸式における歴史的風致
- さいふまいりと門前の生活にみる歴史的風致
- 太宰府天満宮門前の伝統行事における歴史的風致
- 梅に関する歴史的風致
- 観世音寺の「除夜の鐘」にみる歴史的風致
- 農耕に関わる祭事にみる歴史的風致
- 宝満山における歴史的風致
- 大宰府関連史跡の継承と保護にみる歴史的風致
- 主な歴史的建造物

7. 宝満山における歴史的風致

太宰府市の北東に位置する宝満山は、古代からの信仰の山である。時代と共に修験道の山、登山の山と変化しながらも、霊峰の雰囲気は今も残す。

峰入り



8. 大宰府関連史跡の継承と保護にみる歴史的風致

地名の由来である古代の大宰府関連史跡は、中世からさいふまいりの名所地となり、様々な人々によって継承・保護され、現在は「史跡のまち太宰府」と呼ばれるに相応しい景観を残している。

都府楼跡の顕彰碑



